

Ayutsubo Taiko 30th Anniversary



鮎壺太鼓プロフィール 代表 土屋 教雄

1988年、長泉町に伝統芸能を創ろうと和太鼓チームを発足。1995年には「太鼓集団天邪鬼」代表渡辺洋一氏に弟子入りし、2年後、代表曲「天地人」の発表と共にリニューアルデビューをする。メンバーは35人。会員の年齢差は60歳。シニアからジュニアまで4世代同居で、社会人チームとジュニアチームの2つの構成で活動している。

町内及び近隣の市町での祭りやイベント・福祉施設のボランティアに積極的に参加し、全国各地で開催されるフェスティバルへの出演、TV番組やコンテストへの出場等様々な分野にも挑戦し高い評価を受けている。

1998年にはニュージーランド・ワンガヌイ市においての公演を大成功に収め、国際交流にも尽力。2001年、「いつの瞬間も煌いていよう」この言葉をテーマにした「煌」発表。2002年、地元中学校の選択授業において8年間和太鼓講師を務める。2007年、全国的にも初の試みである樽台と打法の「樽」発表。2010年より、鮎壺太鼓ジュニアチームを結成し、青少年の育成にも力を注いでいる。2013年6月には鮎壺太鼓25周年記念公演を開催し大成功に収める。社会人・学生が共に同じ道を志し、地域の皆様に愛され慶ばれるチーム作りを目指している。

～主な活動～

2003年テレビ朝日「秘境とニッポン交換生活」出演

2004年東京国際和太鼓コンテスト・本選出場

2005年福井国民文化祭出演

2006年テレビ朝日「地井と研の熟年遠足」出演

2007年オールジャパン・オタイココンテスト敢闘賞

2009年草月ホール「第13回日本太鼓チャリティーコンサート」出演

2013年ルーマニア大使館「ルーマニア・ネットワーク25周年記念パーティー」出演

2016年ジュニアコンテスト静岡県大会出場

2017年ジュニアコンテスト静岡県大会出場

2017年関八州太鼓祭り出演



構成・演出 渡辺 洋一 プロフィール

太鼓集団天邪鬼 代表、文化庁 特別顧問・文化交流使

(公財)日本太鼓財団 1級公認指導員・技術認定委員、関八州太鼓連合 会長・東京支部 支部長

天邪鬼を主宰する渡辺洋一は幼少の頃から和太鼓の魅力に魅せられ、1976年に日本初和太鼓プロ集団である助六太鼓に入門。以後十年間を中心的プレイヤーとして活動する。その後、確実なる和太鼓の基礎を携え、新しい和太鼓音楽の確立を目指し、1987年太鼓集団天邪鬼を発足する。

以後、和太鼓音楽を広げようと模索。設立の翌年1988年に発表した「天邪鬼パフォーマンス”The Unknown World”」は、シンセサイザーやパーカッション、ドラムス、小鼓、などの多彩な楽器を和太鼓に組み入れた。ジャンルの壁を飛び越えたこの曲は以降5年に亘り、世界各地の万博などで“日本の未来の音楽”として紹介される。

多彩な楽器のフュージョンの経験を経たのちに原点回帰に至り、“創造する伝統”(伝統を踏襲しつつ新たな伝統として、音楽と認められる和太鼓音楽を創造、伝えてゆく)を理想に、武人・怒涛・若武者・魂の響き・五色の太鼓・開運などのオリジナル楽曲を作曲し続ける。

一方で、全国各地のふるさと活性化、青少年の育成等を目的として創作和太鼓の作曲指導を手掛け、数多くの和太鼓チームの指導者として活動を続けている。1998年から2003年までの6年間には大太鼓一人ちコンテストにおいて全国チャンピオンを十度にわたり輩出した。

2003年度には、その高い指導力が認められ、文化庁から特別顧問・文化交流使を任命され、海外へ派遣される。また、(公財)日本太鼓財団のブラジル支部設立のために2004年から毎年1ヶ月間の遠征指導を行い、2008年度にはブラジル移民100周年記念行事で千人太鼓演奏のために尽力をつくす等、国際的に和太鼓を広める活動を行っている。



会場のご案内

会場 長泉町文化センターベルフォーレ

〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩821-1 TEL055-989-0001



鮎壺太鼓公式サイト
<https://facebook.com/ayutsubotaiko/>



太鼓集団 天邪鬼公式サイト
<http://amanojaku.info>